

氏名 千葉 亮祐

所属 岩手県立中央病院

役職 呼吸器内科医長

これまでのキャリア

2009年 岩手医科大学卒業後、岩手県立中央病院で初期研修、後期研修を行い、岩手医科大学大学院に進学。大学院を修了し学位を取得後、2020年、岩手県立中央病院呼吸器内科の医長として着任し現在に至る。

※2019年度岩手県臨床研修医合同オリエンテーション運営責任者として参加。

私のもとではこれが学べる

現在勤務している県立中央病院では経験豊富で熱心な指導を行う専門性の高い指導医が各科に揃っており、多くの症例について救急診療から急性期、亜急性期にかけて直接的にかかわりながら手厚い指導を受けることができます。研修医をはじめとした若い医師たちのモチベーションも非常に高く、互いに切磋琢磨し、また教え合いながら研修することができます。チーム医療、地域連携についても高い意識で取り組んでおり、実際にチームの一員として参加することにより、診療における現場の知識・技術の習得のみならず最終的には総合的な診療能力や患者さんを管理する能力が身につきます。

教育にかける思い

若い医師たちに対して手厚く熱い指導をするために、指導医として自己研鑽を続けることはもちろん、他の指導医やイーハトーヴ臨床研修病院群との連携を強固にしながら研修指導の質を高めていきたいと思っております！

医学生へのメッセージ

医師になったキャリアの始めに大切なことの1つはたくさんの症例を経験することだと思います。岩手県は残念ながら医師の充足率は低い状況が続いてはいますが、ひとりの医師が対応し経験する症例数は豊富です。そして、他の地域と比較して研修医の医師たちが即戦力として、より実践的に臨床現場で診療に関わる場面が多いです。一方で最近はワークライフバランスの考え方も浸透してきており、ハードな研修を受けながらも、オフはしっかりと心身ともにリフレッシュして研修医生活を送る医師が増えてきている印象です。まずは一度病院に見学に来て研修医や指導医の話を直接見て、聞いて、雰囲気を感じ取ってもらえればと思います。ぜひ皆さんも我々の仲間になりませんか？